

令和3年度 第1回 学校運営協議会記録

日時：令和3年7月1日（木）15：30～17：00

場所：校長室

出席者：友谷委員、西田委員、速水委員、西川委員、川上委員、笹井委員

佐々木校長、坂口教頭、轟事務長、永野首席、村上首席、住友指導教諭

- 1 校長挨拶
- 2 委員の確認・自己紹介
- 3 会長選出  
友谷知己 関西大学教授が選出された。
- 4 会長挨拶  
〈 配布資料の確認 〉
- 5 学校運営協議会について（坂口教頭から説明）  
学校運営協議会実施要項、保護者からの意見書の取り扱いについての説明。  
保護者からの意見書については、在校生保護者に周知する。傍聴希望などがあれば参加できる。
- 6 令和3年度学校教育計画について（佐々木校長から説明）
  - ・育てたい生徒像  
山田高校の生徒達は素直なよい子が多いので、社会に出た時、疑問を持てる生徒に育てて欲しい
  - ・中期的目標
  - ・来年度から新しい学習指導要領が始まる中で観点別学習評価の実施の準備をおこなう。（永野首席より観点別学習評価の今年度2学期における試行について説明）
  - ・SDGsをテーマとした探究活動の継続。
    - 1年次 講演等を聞き様々な情報をえる。
    - 2年次 探究活動をおこない、論文を作成する。
    - 3年次 2年次の論文を英文にする。
  - ・ベーシックタイムは生徒にも達成感があるので継続していく。
  - ・ICT活用について  
1人1台の端末が今秋に導入される。本校は先行的な試行のモデル校に指定されたので42台の端末が導入された。2年生1クラスで配付してベーシックタイムなどで活用させている。Google Workspace の活用では、フォームを利用した欠席連絡やアンケートの実施等を進めている。生徒総会や保護者懇談もオンラインで実施している。
  - ・国公立、関関同立の合格者数がさらに伸びている。さらに生徒本人が希望する進路実現に努めていきたい。
  - ・コロナ感染拡大の影響により部活動が思うように実施できない。公式戦などに大きな影響が出ている。体育祭や文化祭の規模縮小など生徒会活動にも大きな影響あ

り。

#### 本年度の取り組み内容

- ・「平日、ほとんど勉強しない」が生徒 10%を切ることを目標にしている。今年の 1 年生は学習意欲が高い生徒が多い。
- ・ 1 人 1 台端末活用に向けて、ICT活用をより効果的におこなう。
- ・ コロナウィルスの影響はあるが、感染対策を講じながら、グループ学習など主体的な学びも推進していきたい。
- ・ 今年度予定していたオーストラリアの姉妹校との交流活動は中止。→メール交換による交流を進めている。
- ・ 部活動の加入率 9 割超をめざす。コロナ禍で 1 年生の仮入部期間が十分に確保できなかった。
- ・ 体育祭は熱中症対策のためグラウンドに日陰ができる 15 時半よりダンスパフォーマンスだけを実施する予定。
- ・ 文化祭は調理を要する模擬店は中止。一般公開は行わないので、在校生が全員参加できるように木曜・金曜開催に変更。
- ・ 交通安全指導は今年度も P T A と協力してマナーアップを目指す。
- ・ 安全安心な学びの場として、生徒の感染症対策に対する意識を高める。1・2 年生に対してズームによるオンライン講演を感染症専門の看護師によって実施。
- ・ 春に実施できなかった校外学習は秋に実施する方向ですすすめている。
- ・ 働き方改革としてノークラブデー、一斉退庁日の徹底を図る。
- ・ 情報発信としては、学校説明会を 6 回実施する。昨年度同様に Web による事前情報発信等を行う。

#### 今春卒業生の進路状況（教頭より）

- ・ ここ 3～4 年の大学の入学定員厳格化の影響が落ち着いたこと、コロナ禍の影響で地方からの受験者が減ったなどの要因もあり、今春の進学実績はさらにアップした。
- ・ 産近甲龍の受験者が合格を手にして、さらに関関同立を受検して合格していることがわかる。

#### 図書館について（住友指導教諭より）

- ・ 今年度の図書館利用状況は例年とほとんど変わらない。コロナ禍による制限を受けて保護者の見学会や生徒による選書などは中止になった。

#### 授業充実について（永野首席より）

- ・ プロジェクトチームを中心に取り組む。今年度各学年毎に 1 回授業見学日を実施。残りの学年は午後授業カットして、教員同士の授業見学を行いやすい環境づくり。
- ・ 生徒の学力向上、教員の授業力向上に向けて機器充実を図っている。
- ・ ベーシックタイム、8 年目に入り定着してきた。ペーパーレス化の観点から Chromebook を利用した実施を検討している。

## 7 質疑応答・意見交換

委員：資料はできれば事前にいただきたかった。今日の説明内容については疑問点は無い。校長のリーダーシップがよく感じられて良かった。同窓会から、3年間研究してきた記念として、SDGsバッジを卒業生に贈ることを検討している。卒業生が各方面で活躍してくれているのはうれしい。ホームページの充実を図って欲しい。

委員：小学校でも観点別学習評価について主体的な部分の評価の難しさは感じている。評価のための推進組織を作って共通認識を持つことが大事ではないかと考えている。

委員：ギガスクール構想については、大学では全教室でWi-Fiが利用できる中、様々なトラブルも発生している。学校運営協議会の資料もペーパーレスにできないだろうか。コロナ禍により、新入生のサークル活動への加入が進まない問題は大学でもある。

委員：新学習指導要領で新しく設定された3観点での観点別学習評価は中学校でも今年度より実施となっている。1人1台の端末配付による授業での活用についてはネットワークがつながりにくい状況である。全校集会はMicrosoft Teamsで実施し、声は放送で流している。

委員：従来からの良いところを継続しながら、新たなことに取り組んでいく姿勢は良いと思う。近隣のホテル跡地利用について計画が具体化しつつある。山田高校にとっても環境が大きく変わるだろう。

委員：部活動加入率90%超を目標としているとのことだが、茨木市内のある高校では複数の部活動加入で加入率が100%を超えている学校もあると聞いている。自分自身野球が好きなので、硬式野球部の活躍はとてもうれしい。Expo70にあやかった校章を使えるメリットを生かした取り組みはできないか。ボランティア活動に積極的に取り組んでいる学校もある。山田高校でもできないか。

## 8 諸連絡（坂口教頭より）

第2回が11月中旬を予定

議題は令和3年度学校経営計画の進捗状況、令和4年度使用教科用図書選定報告、学校教育自己診断についてなどを予定。